

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221331064	栄養教育論実習 I Practice in Nutrition Education I	田中優成			1	必修	3前期

**科目の概要**

管理栄養学科の「ディプロマポリシー-DP1、DP2、DP3」を栄養教育実習を通して習得する。DP1は栄養教育の対象者に建学の精神、社会人基礎基礎力、pisa型学力を活用した実践法を習得する。DP2は管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造する力を習得する。DP3は、常に社会的な自立を意識し、自己研鑽する習慣を習得する。栄養教育論Iで修得した栄養教育の理論を症例に使い展開する。栄養教育には、学習者自ら食行動変容し、QOLの向上に繋がるように支援していくための知識と技能が必要である。栄養教育の意義、目的に応じた理論と技法及び社会・生活環境や健康・栄養状態の特徴に基づいて以下の3項目を学修する。①健康・栄養状態、食行動、食環境に関する情報の収集、実態の把握、問題点の抽出および分析方法②行動変容を促す行動科学、栄養カウンセリング法、食行動技法の活用法③栄養教育に用いる適切な教材の選択・活用と作成

学修内容	到達目標
① 栄養教育マネジメントの流れを理解する。 ② 栄養教育プログラムの構成を理解する。 ③ 行動科学の理論・モデルの活用法、行動変容を促す食行動技法、栄養カウンセリングの活用法を理解する。 ④ 栄養教育教材の適切な情報収集について理解する。 ⑤ 栄養教育教材の作成方法を理解する。	① 栄養教育を行うための適切な質問紙の作成やアセスメントの結果をまとめることができる。 ② 栄養ケアプロセスを活用して、栄養管理目標を達成する栄養教育プログラムが構成できる。 ③ 行動科学の理論・モデルを活用して、食行動変容を促す食行動技法、栄養カウンセリングができる。 ④ 栄養教育に用いる適切な情報を調べ、適切に利用することができる。 ⑤ リーフレットやパンフレット、スライド等の教材の特徴を理解し、わかりやすい教材を作ることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 授業で使用している栄養教育の教科書に記載されている学修内容だけでなく複数の科目の教科書を利用し、食行動変容を促す栄養教育を完成する取り組みができる
	働きかけ力
	実行力 栄養教育プログラムを作成するにあたり、文献や図書、インターネット等の情報を正しく収集することができる
考え抜く力	課題発見力 栄養教育プログラムを作成するにあたり、出てきた疑問や課題について、適切な情報源から新たに知識・技能を獲得して、更なる課題を発見することができる。
	計画力
	創造力 従来の常識や発想を転換し、自分にしかできない栄養教育を見出すことができる
チームで働く力	発信力 他の人がどのようなことを求めているのかということを理解し、獲得した知識・能力を他の人にわかりやすく伝えることができる
	傾聴力 他の人がどのようなことを考えているのかを汲み取り、多様性を理解した上で更に自分の考えに踏襲することができる
	柔軟性
	情況把握力
	規律性 決められた締め切り時間やグループ内のルールを把握し、そのルールや約束を守ることができる
	ストレスコントロール力

**テキスト及び参考文献**

栄養教育論 I の教科書  
 糖尿病食事療法のための食品交換表  
 日本人の食事摂取基準

**他科目との関連、資格との関連**

【他科目との関連】  
 管理栄養士への道 健康管理概論 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学Ⅰ・Ⅱ 食品学Ⅰ・Ⅱ 基礎栄養学Ⅰ・Ⅱ 食事摂取基準論 栄養管理プロセス論 応用栄養学Ⅰ・Ⅱ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ 臨床栄養学実習 栄養教育論Ⅰ・Ⅱ 栄養教育論実習Ⅱ 栄養カウンセリング論  
 【資格との関連】  
 管理栄養士 栄養士 栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
栄養教育論 I で修得した知識・技能の活用法を実習で学修します。これまでの授業で出てきた基本的な語句の説明をする時間はないため、栄養教育論 I で学修した行動科学の理論・モデルの概要、行動変容技法やカウンセリング技法等基本的なことはきちんと復習してから授業に臨みましょう。	本授業はグループワークや個人で作成した内容をグループで共有することも多くなります。栄養教育の練習として必ず授業内では発言することや自信も他の人の意見を積極的に取り入れることを心がけましょう。また、授業内で決めたことはきちんと守り、提出物は必ず期限内に提出しましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	60	①		✓	第2週、第4週、第5週、第10週、第11週、第12週の計6回のレポート提出を各10点満点で評価する。 評価の観点はその都度Classroomにて提示する。
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①		<p>第11,12週目の発表&lt;相互評価（10点）&gt; 【評価基準】（相互評価は2/3以上の支持を得たものを採用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図表の文字の大きさや色が読み取りやすい</li> <li>図表の色合いが工夫されている</li> <li>エビデンスに基づいた資料が使われている</li> <li>導入の部分で背景や説明から現状が理解できた</li> <li>スライドの文字が「文章」ではなく文や単語での説明である</li> <li>紙の大小や明瞭が聞き取りやすい</li> <li>話すスピードが適切で聞き取りやすい</li> <li>言葉遣いが適切である</li> <li>決められた時間内で発表することができる</li> <li>アニメーションを適切に活用している</li> </ul> <p>第13,14週目のディベート&lt;相互評価（10点）及び教員評価（10点）&gt; 【評価基準】（相互評価は2/3以上の支持を得たものを採用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の大小や明瞭が聞き取りやすい</li> <li>言葉遣いが適切である</li> <li>話の展開の仕方に創意工夫が見られ焦点を絞っている</li> <li>エビデンスに基づいた発表である</li> <li>決められた時間内で発表することができる</li> <li>相手の意見に対して適切な質問ができる</li> <li>相手の意見に対して適切に反論ができる</li> <li>最終的に発表で主張していたことに納得できた</li> <li>ディベートの結果、相手の主張を上回っていた（判定）</li> </ul>			
		②					
		③					
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①		✓	（主体性） 自発的に取り組むことができる （実行力） 教材作成や資料作成など粘り強く取り組むことができる （課題発見力） 情報収集や分析をして課題を明らかにすることができる （創造力） 新規性に富んだ資料の作成を行うことができる （発信力） 作成する教材や発表する内容の工夫点を自ら説明することができる （傾聴力） 他の方の発表や意見をよく聴き、改善に向けて努力することができる （規律性） 授業が円滑に進行するように時間やルールを守ることができる	
			②		✓		
			③		✓		
			④		✓		
			⑤		✓		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
栄養教育論 I で習得した知識を活用し、到達目標の①～⑤を達成するために、栄養教育の立案や栄養教育教材の作成に意欲的に取り組むことができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。	栄養教育論 I で習得した知識を活用し、到達目標の①～⑤を達成するために、栄養教育の立案や栄養教育教材の作成に意欲的に取り組むことができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の運営、目標、評価方法等を理解し、伝わりやすい栄養教育とはどのようなものかを考える	講義 ディスカッション Google Classroom	伝わりやすい栄養教育のために必要なものを説明できる	予習：栄養教育論Ⅰで学修した行動科学の理論・モデルを復習する 復習：他の人の話し方や伝え方を参考に、自身がどのようにすれば伝わりやすかったかを考える	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「アイスブレイクの実践」 栄養教育の導入部で使用されるアイスブレイクを自身で考える	講義 ディスカッション Google Classroom Google forms	独自のアイスブレイクを考えることができる	予習：アイスブレイクにはどのような効果があるかを復習する 復習：他の人のアイスブレイクを聴き、自身のアイスブレイクへと反映しレポートにまとめることができる	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「栄養マネジメントの実践」 プリシード・プロセスモデルに基づき、栄養マネジメントを立案する	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom	プリシード・プロセスモデルを正しく活用することができる	予習：プリシード・プロセスモデルの復習 復習：アセスメントを行うための質問票を再考する	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「栄養アセスメントと目標設定」 栄養アセスメントで得られた結果のまとめ方と目標設定について学修する	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom	栄養アセスメントで得られた結果を基に適切に目標を設定することができる	予習：課題整理の際の優先順位に付け方を復習してくる 復習：優先課題を決定し、適切な目標設定を行ったものをレポートにまとめてくる	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「行動変容段階に応じた栄養カウンセリングの実践」 トランスセオレティカルモデルに基づき、行動変容技法や栄養カウンセリング技法を活用して栄養カウンセリングを実践する	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom Google forms	行動変容段階を見極め適切なカウンセリングを行うことができる	予習：トランスセオレティカルモデルの復習 復習：授業で実践したカウンセリングを基に適切なカウンセリング内容を精査し、レポートにまとめる	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「栄養教育方法の選択」 学習形態の種類と方法を学修する	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom PCRシート	適切な場面で適切な学習形態の種類と方法を選択できる	予習：一斉学習、グループ学習、個別学習のそれぞれの特徴を復習してくる 復習：症例に対し、適切な学習形態の種類と方法を考える	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「栄養教育教材の活用①」 栄養教育に用いる食材カード・食事バランスガイド・フードモデルの使い方を学修する	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom PCRシート	食材カード・食事バランスガイド・フードモデルを正しく活用できる	予習：食材カード・食事バランスガイド・フードモデルの特徴をまとめる 復習：教材を用いた栄養教育事例を考える	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「栄養教育教材の活用②」 栄養教育に用いる食品交換表・食事摂取基準の使い方を学修する	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom PCRシート	食品交換表・食事摂取基準を正しく活用できる	予習：食材カード・食事バランスガイドの特徴をまとめる 復習：教材を用いた栄養教育事例を考える	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「栄養教育教材の活用③」 栄養教育に用いる情報(文献)の探し方と使い方を学修する	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom PCRシート	栄養教育として適切な情報を取捨選択することができる	予習：栄養に関する論文を探す 復習：教材を用いた栄養教育事例を考える	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「栄養教育教材の作成①」 Microsoft Wordを用いたリーフレット・パンフレットの作成	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom Google forms Microsoft Word	Microsoft Wordを利用し対象者にとって見やすいリーフレット・パンフレットを作成することができる	予習：Microsoft Wordの使い方を復習する 復習：作成したリーフレット・パンフレットを他の人と共有し、改善を加えた上で、レポートにまとめる	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「栄養教育教材の作成②」 Microsoft Excelを用いた図表・グラフの作成 【テーマ】 野菜摂取量の増加に向けた栄養教育	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom Google forms Microsoft Excel	Microsoft Excelを利用し対象者にとって見やすい図表・グラフを作成することができる	予習：Microsoft Excelの使い方を復習する 復習：作成した図表・グラフを他の人と共有し、改善を加えた上で、レポートにまとめる	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「栄養教育教材の作成③」 Microsoft Powerpointを用いたスライドの作成と発表 【テーマ】 野菜摂取量の増加に向けた栄養教育	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom Google forms Microsoft Powerpoint	Microsoft Powerpointを利用し対象者にとって見やすいスライドを作成し発表することができる	予習：Microsoft Powerpointの使い方を復習する 復習：作成したスライドを他の人と共有し、改善を加えた上で、レポートにまとめる	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「エビデンスに基づく栄養教育トレーニング①」 エビデンスを収集し、ディベートに向けた準備を行う 【テーマ】 ①小学校の朝食給食を義務化すべきである。 ②飲食店などで、客の食べ残しを持ち帰り可にすべきである。 ③一部の食品に対して「肥満税」を導入すべきである。	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom Google forms PCRシート	適切な情報収集、説明するための資料の作成を行うことができる	予習：ディベートとはどういったものか調べてくる 復習：ディベートに向けて準備を行う	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「エビデンスに基づく栄養教育トレーニング②」 テーマに沿ったディベートを行い、相互に評価し合う	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom Google forms PCRシート	収集した情報を基に納得してもらえるように相手に伝える工夫ができる	予習：ディベートに向けて準備を行う 復習：自身が行ったディベートや他の班のディベート等を参考に改善点を考える	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ」 第1～14週で学修した内容を基にわかりやすい栄養教育とは何かを考える	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom Google forms	わかりやすく伝わりやすい栄養教育とはどのようなものか説明できる	予習：これまでに学修した内容をまとめ、疑問点や課題点を抽出しておく 復習：栄養教育論実習Ⅱに向けてわかりやすい教材作りとは、伝わりやすい伝え方とはということ自身で説明できるようにする	30	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221332065	栄養教育論実習Ⅱ Practice in Nutrition Education II	田中優成		専門	1	選択	3後期

**科目の概要**

管理栄養学科のディプロマポリシー（DP2、DP3）である管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することができる人材を育成する科目として設定している。栄養教育論Ⅱで習得した知識を活用し、実際に栄養教育ができるようにする。ライフステージ（妊娠期、乳幼児期、思春期、高齢期など）・ライフスタイルを考慮し食育を目的とした健康人に対する集団指導、および医師の指示により、食事療法や生活習慣の改善が必要な対象者に対し実施される集団指導を展開する。管理栄養士として対象者（地域住民やアスリート、患者等）の問題点を的確に把握し、実行可能・継続した栄養教育・支援を行うことが重要である。また様々な場面を想定して適切に事前準備を行い、適正な栄養教育ができるような技術を習得する。

学修内容	到達目標
① 栄養教育マネジメントの流れを理解する。 ② 栄養教育プログラムの構成を理解する。 ③ 栄養教育教材の適切な情報収集について理解する。 ④ 栄養教育教材の作成方法を理解する。	① 栄養教育を行うための適切な質問紙の作成やアセスメントの結果をまとめることができる。 ② 栄養ケアプロセスを活用して、栄養管理目標を達成する栄養教育プログラムが構成できる。 ③ 栄養教育に用いる適切な情報を調べ、適切に利用することができる。 ④ リーフレットやパンフレット、スライド等の教材の特徴を理解し、わかりやすい教材を作ることができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる
	働きかけ力	
	実行力	成果に喜びを感じ、目標達成に向かい粘り強く取り組みを続けることができる
考え抜く力	課題発見力	現状を正しく把握し、情報収集や分析をして課題を明らかにすることができる
	計画力	
	創造力	従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を生み出すことができる
チームで働く力	発信力	相手がどんな情報を求めているかを理解し、具体的にわかりやすく伝えることができる
	傾聴力	相槌や共感等により、相手に話しやすい環境を作るとともに、素直に聞くことができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	ルールを把握し、そのルールや約束を守ることができる
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論  
 参考：糖尿病食事療法のための食品交換表  
 その他これまでに使用した他科目の教科書

**他科目との関連、資格との関連**

【他科目との関連】  
 管理栄養士への道 健康管理概論 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学Ⅰ・Ⅱ 食品学Ⅰ・Ⅱ 基礎栄養学Ⅰ・Ⅱ 食事摂取基準論 栄養管理プロセス論 応用栄養学Ⅰ・Ⅱ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ 臨床栄養学実習 栄養教育論Ⅰ・Ⅱ 栄養教育論実習Ⅰ 栄養カウンセリング論  
 【資格との関連】  
 管理栄養士 栄養士 栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
今まで学修した内容を基に自身で考えることがこの科目の最も重要なこととなります。また栄養指導の効果を発揮するための媒体物、知識等が必要です。しっかりこれまでに学修した内容、特に栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、応用栄養学、臨床栄養学等を復習してから履修しましょう。	グループワークや班での活動が多くなります。他の人の意見をよく聴くとともに積極的に意見を発信し、授業に臨みましょう。また、提出物は期日を必ず守りましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
		レポート	40	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓			
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>栄養教育論Ⅱで習得した知識を活用し、ライフステージや行動変容ステージによって異なる対象者の状況を整理し、食習慣・行動の問題点を見極め、対象者主体で正しい行動変容へ向け、意欲的に取り組むことができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。</p>	<p>栄養教育論Ⅱで習得した知識を活用し、ライフステージや行動変容ステージによって異なる対象者の状況を整理し、食習慣・行動の問題点を見極めることができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」授業の運営、目標、評価方法等を理解するとともに次週以降の発表教材の作成や発表の方法を考える	講義 グループワーク Google Classroom	班で話し合っそれぞれ役割を持って発表に向けた準備ができる	予習：栄養教育論Ⅰ・Ⅱで学んだ知識の見直し 復習：どのような教材が適切か考える	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「栄養教育教材の作成方法」栄養教育教材を作成する際の注意点について学び、実際の場面を想定した栄養教育教材を作成する	講義 演習 Google Classroom	様々な場面に適した栄養教育教材について理解し、基本的なことに注意しながら作成することができる	予習：栄養教育教材の種類について復習してくる 復習：実際に使用されている栄養教育教材について調べる	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「病院における栄養教育①」病院における糖尿病教室、高血圧教室、腎臓病教室の特徴を学び、担当する教室毎に分かれる各教室の発表に向けての計画を立案し、発表の準備をする	演習 グループワーク	集団指導における栄養教育の計画が立案できる 必要な栄養教育教材を選択できる	予習：臨床栄養学等を参考に糖尿病・高血圧・腎臓病の栄養教育のポイント、把握すべきことを復習してくる 復習：発表の準備	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「病院における栄養教育③」○○○教室グループの発表をする 発表を聞き評価する	集団指導（栄養教育） 実技 グループワーク Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他のグループの発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他グループの発表と自分たちの発表の違いを検証する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「病院における栄養教育④」○○○教室グループの発表をする 発表を聞き評価する	集団指導（栄養教育） 実技 グループワーク Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他のグループの発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他グループの発表と自分たちの発表の違いを検証する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「病院における栄養教育⑤」○○○教室グループの発表をする 発表を聞き評価する	集団指導（栄養教育） 実技 グループワーク Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他のグループの発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他グループの発表と自分たちの発表の違いを検証する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「ライフステージ別の栄養教育（離乳食教室）①」離乳食教室の栄養教育教材を作成する	講義 演習 Google Classroom	栄養教育教材（リーフレット・パンフレット）の作成、発表できるように準備ができる	予習：授乳期・乳児期の特徴を復習してくる 復習：発表の準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「ライフステージ別の栄養教育（離乳食教室）②」作成した栄養教育教材を用いてグループ内で発表し合う	演習 集団指導（栄養教育） 実技 Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他の人の発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他の人の発表と自分の発表の違いを検証する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「ライフステージ別の栄養教育(思春期のスポーツ栄養)①」 スポーツ栄養に関する情報を収集し、指導の内容を考える	演習 グループワーク	スポーツ栄養指導の内容を考え、魅力的なテーマを設定することができる	予習: スポーツ栄養について復習してくる 復習: 課題の抽出および整理	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「ライフステージ別の栄養教育(思春期のスポーツ栄養)②」 高校生の部活動生を対象にした栄養教育教材の作成を行う	演習 グループワーク	栄養教育教材(パワーポイント)の作成、発表できるように準備ができる	予習: 思春期の特徴について復習してくる 復習: 発表の準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「ライフステージ別の栄養教育(思春期のスポーツ栄養)③」 作成した栄養教育教材を用いてグループ内で発表し合う	演習 集団指導(栄養教育) 実技 Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他の人の発表を聴き、適切に評価できる	予習: 発表の準備 復習: 他の人の発表と自分の発表の違いを検証する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「ライフステージ別の栄養教育(高齢期)①」 高齢者を対象にした(フレイル予防、サルコペニア予防、冬場の脱水症予防)いずれかの栄養教育教材の作成を行う	演習 グループワーク	適切な栄養教育教材の作成、発表できるように準備ができる	予習: 高齢期の特徴について復習してくる 復習: 発表の準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「ライフステージ別の栄養教育(高齢期)②」 作成した栄養教育教材を用いてグループ内で発表し合う	演習 集団指導(栄養教育) 実技 Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他の人の発表を聴き、適切に評価できる	予習: 発表の準備 復習: 他の人の発表と自分の発表の違いを検証する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「未発表者の発表」 発表できなかった人が発表し合い、適切な評価をする	集団指導(栄養教育) 実技 Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他の人の発表を聴き、適切に評価できる	予習: 発表の準備 復習: 他の人の発表と自分の発表の違いを検証する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ・補足」 授業で学修した内容を振り返り、教材作成や教室開催において重要なことをまとめる	講義 グループワーク Google forms	これまでの学修を振り返り、わかりやすい教材や教室は何かを考えることができる	予習: 今までの疑問点を整理する 復習: これまでに作成した栄養教育の内容、発表を聞いた栄養教育の内容からそれぞれの違いを整理する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力